



校長室だより

第11号 平成30年2月26日(月)



雨の日の集団下校

学校評価結果より

平成29年度の学校評価結果より、児童・保護者回答を抜粋して簡単にお知らせします。

〈確かな学力の確立〉

「鳴鹿っ子授業の8つの約束」を守っている…児童の85% 昨年86% ○

授業がわかる…児童の97% 昨年96% ◎

〈豊かな人間性の育成〉

相手のことを考え、礼儀正しい言動ができた…児童の97% 昨年94% ◎

無言清掃に取り組んだ…児童の97% 昨年90% ◎

読書が好きだ…児童の86% 昨年77% ▲

学校が楽しいと思う…児童の97% 昨年97% ○

〈健やかな体の育成〉

パワーアップタイム（業間マラソン）に熱心に取り組んだ…児童の99% 昨年98%

早寝早起きができている…児童の82% 昨年89% ▲

早寝早起きができている…保護者から見ると児童の86% 昨年81% ○

〈家庭・地域との連携〉

ノーゲームデー・スマートルールに取り組んだ…保護者の62% 昨年61% ▲

学校の防災・避難訓練や危機管理に対して満足…保護者の98% 昨年98% ○

【凡例：◎目標値より上 ○おおそ目標値 △目標値より下 ▲課題】

昨年度の数値と比べると、どの項目もそれほど大きな変化は見られませんでした。子どもたちや先生方が、毎日学校へ通うのが楽しいと言った学校づくりを推進してきましたが、基本的には、授業が分かり元気いっぱい運動でき、友だちと仲良く楽しく学校生活を過ごすことができることが魅力のある学校であると考えます。自分からまったくやろうとしなかったことに少し目が向き、自ら取り組めるようになるなど、子どもたちは日々成長していることが、目に見えて分かるようになってきました。

本校のプラスの資源（良さ）として、児童の素直さがあります。それゆえに担任をはじめ地域の方・保護者が、鳴鹿っ子のみんなを何とか立派な子になってもらいたいと日々努力を重ねています。子どもの主体的な学びや活動を引き出していくことが求められる中、私たち教職員の指導力の向上は不可欠であり、さらなる教材研究や授業の改善に取り組んでいかなければなりません。

また、地域の方の読み聞かせや校外学習でのボランティアの方などと合わせて、先生方のまじめな姿が本校の宝であり、感謝するばかりです。どの先生方を見ても主体的な実践の取り組みを行い、ICT機器の活用など研究実践や授業改善に対して大変に前向きな姿勢です。

今後も数値を参考に、引き続き工夫して働きかけを行っていきたいと思いますが、全体的に見て子どもたちは大変よく頑張ったと思います。「読書が好きだ」という子が10%ほど増えました。個人差や本のジャンルに偏りは見られるものの喜ばしいことであり、本年度の教育活動の成果であります。そして、「授業がわからない」とか「学校が楽しくない」というときはその都度個別に話をよく聞き、ご家庭と連携して対応・対策を考えたいと思います。

また、2月22日（木）に行われた第3回まほろば協議会（家庭・地域・学校協議会）では、次のようなご意見をいただきました。

- ・地域との共生ということで、来年は9月に行われる上久米田地区の「大王祭」で、「巫女の舞」を舞う女子児童を出して欲しい。
- ・グラウンドの環境整備を何とかしたかった。
- ・文科省の教育方針がころころ変わる中で、先生方は大変だと思います。
- ・学校内のことについては、見えないことが多いので、どう評価していいのか分からないところがあります。登下校の姿や学校訪問時に見える児童は、挨拶ができてとても気持ちがいいと思っています。声かけができて、その反応で先生方の指導が見えるのではないのでしょうか。



地域学校協議会「まほろば協議会」での様子 2/22 (木)

- ・今、先生方の働き方が注目されていますが、いつも遅くまで職員室の電気がついているのが、時々気になります。
- ・子どもや学校の先生方が、毎日学校へ行くのが楽しいというような魅力のある学校づくりを、今後も進めてもらいたいと思います。
- ・今の若いお父さんお母さん向けの、子育て講演会のような学びの場や保護者対象の研修会を、今後実施していく必要があるのではないかと思います。いろいろ子育てに悩んでおられる方もおられるようです。
- ・家では学校の子どもの様子は分かりません。学校と家庭の情報の共有を、しっかりお願いしたいと思います。など

学校からは、来年度も「地域体験学習」の継続が予定されていますので、地域や外部機関のご協力をお願いしました。地域のみなさまとも協力して、よりよい学校教育活動につなげていきたいと思っています。学校評価へのご協力ありがとうございました。

のびのびタイム（昼休みの35分）お掃除なしデー 2月21日（水）

お昼休みの時に、2階の太陽の広場から子どもたちの大きな賑やかな声が聞こえてきました。何を騒いでいるのかと様子を見に行くと、3、4年生を中心に「だいこん抜きゲーム」や「ハンカチ落とし」「縄跳び」「オセロ」等をお友達同士が集まり、楽しく遊んでいました。そんなに大騒ぎをして楽しんでいる姿を見るのは久しぶりで、私も子どもたちの遊んでいる様子を見ながら、楽しんでしまいました。子どもたちは、遊びの天才ですね。冬季の間、グラウンドや校庭に出られない中で、廊下や教室で鬼ごっこをすると学校のルール違反でしかられます。担任の先生から、みんなで仲良く楽しめる遊びを教えてくださいました。

一方、高学年はどうしているのかと思い、5年教室に行くと送る会のダンスの練習をしていました。また、6年生も体育館で送る会の合唱の練習中で、担任の先生の指導の下、張り詰めた緊張感が漂っていました。それだからこそすばらしい6年生を送る会になったのではないかと思います。



4年男子 友達同士で仲良く遊んでいます



お互いに引っ張られないようがんばっています



1対1のオセロは真剣勝負です

なるかのひとコマ



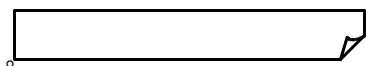
3年 昔の道具学習 2/1



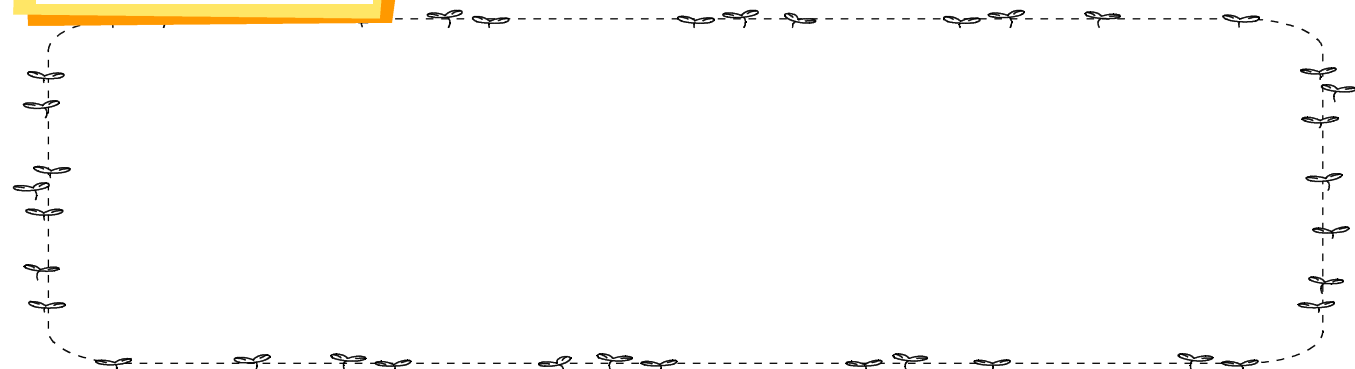
1年 体験入学「園児の前での音読 2/16



5年 理科授業研究「人のたんじょう」2/2



を並べてみました。と比べるために課題としてあげた読書については、様々な取り組みで読書量そのものは増えています。また、ゲームをする時間がほとんどない、携帯・スマホを持たせていないのでノーゲームデー・スマートルールに取り組む必要がないという回答も含まれています。



すこやか子育て

本当の失敗は何もしないこと

ESD (Education for Sustainable Development) 持続発展教育の推進

＜今年もサクラマスの卵をいただきました 12月15日（金）＞

サクラマスレストレーションの安田さんから、今年もとてもきれいなオレンジ色のサクラマスの卵、約100個をいただきました。今年も1年生が世話をしますが、たくさんの子どもたちが観察を通して、生命の大切さを学んでほしいと思います。水温を保ったり、くみ置きの水をかえたりいろんな世話をしながら、ふ化するのを全校で楽しみに待ちます。

